

漁海況情報

平成21年7月15日 第14号(通巻404号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861-3

TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp1

【エチゼンクラゲ情報】

7月14日の調査中、調査船「第2くろしお」が川尻沖でエチゼンクラゲを確認しました。本年、本州で初めてのエチゼンクラゲ確認となります。出現位置は下記のとおりです。

確認日時：7月14日、15:40～16:40

確認場所：図1参照。川尻沖マウンド礁付近

①34°35.195'N、131°00.952'E

②34°33.367'N、131°02.873'E

③34°31.902'N、131°04.673'E

確認個体：①で10個体、①～②の間で13個体、③で1個体でした。

なお、確認個体の傘径は10～60cmでした。

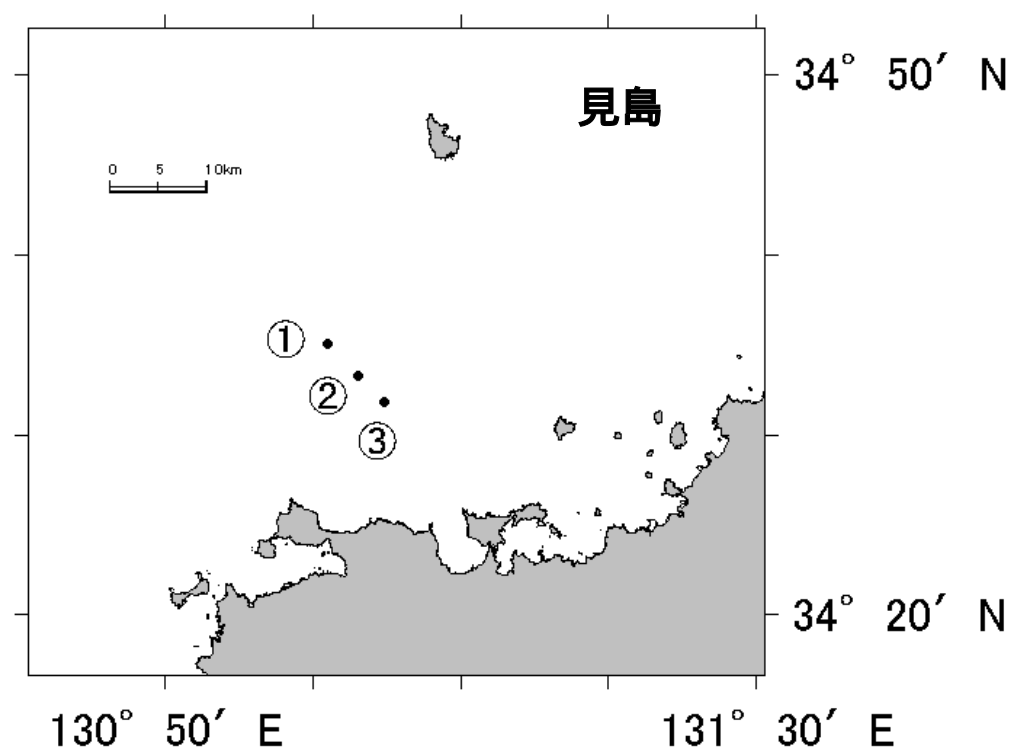


図1 エチゼンクラゲ出現位置

【平成21年度第2回日本海海況予報(7~9)月】

(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所が7月3日に発表した第2回日本海海況予報から、山口県に関する部分を抜粋してお知らせします。

2009年7月~9月の見通し

- 1 対馬暖流域の表面水温は「平年並み」で経過する。
- 2 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では「やや高め」で経過する。
- 3 島根沖の冷水の張り出しは、「かなり弱い」だろう。

* 平年並み・・・約2年に1度の出現確率で、平年値 $\pm 0.5^{\circ}\text{C}$ 程度の水温

* やや高め・・・約4年に1度の出現確率である 1°C 程度の高さ。

【萩 - 見島フェリー観測の表面水温】

萩沖の表面水温は、6月後半から前年・平年を上回って推移していましたが、7月中旬に入り平年を上回り、前年を下回って推移しています。7月15日の表面水温は 24.29°C で、前年に比べ 1.22°C 低め、

平年に比べ 0.01°C 高めです。

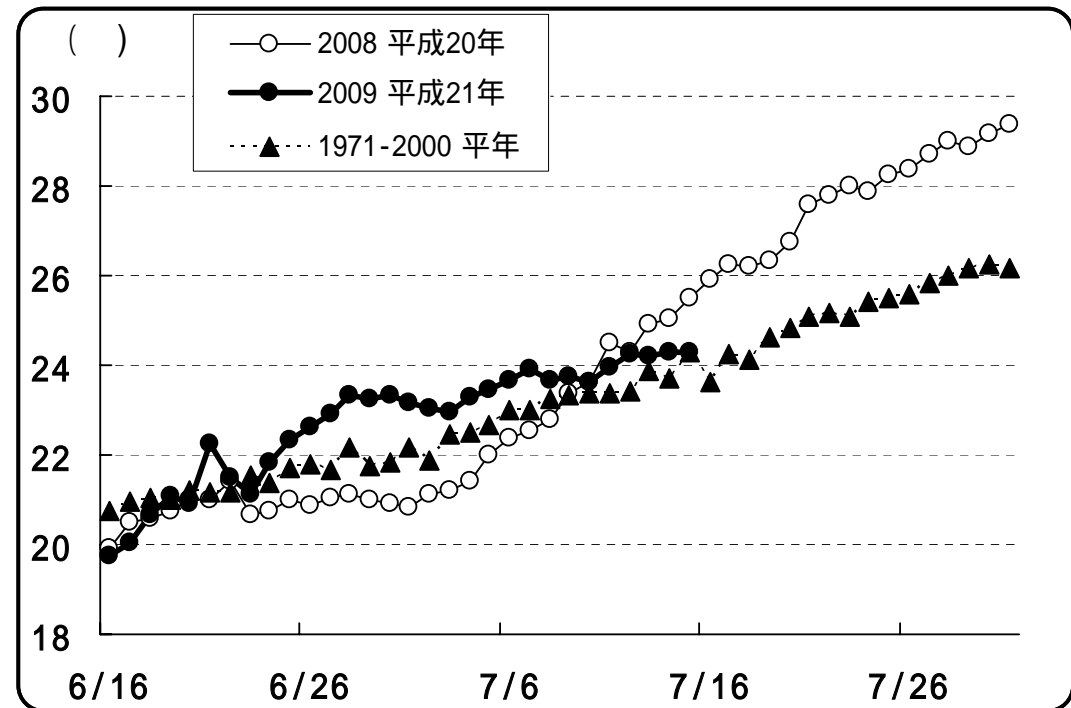


図2 萩NNW15マイル沖表面水温の推移
【海洋観測と魚群探索】

7月14日、調査船「第2くろしお」で水温観測と魚群調査を行いました。観測水温は表1のとおりでした。また、魚群反応は図3のとおりで、全体的に反応は少なかったです。なお、①海域(緯度 $34^{\circ}44.99'N$ 経度 $131^{\circ}06.53'E$)で釣獲調査を

1時間程度実施したところ、ウマヅラハギ3尾(全長26~35cm)、カサゴ2尾(全長21cm、27cm)が漁獲されました。

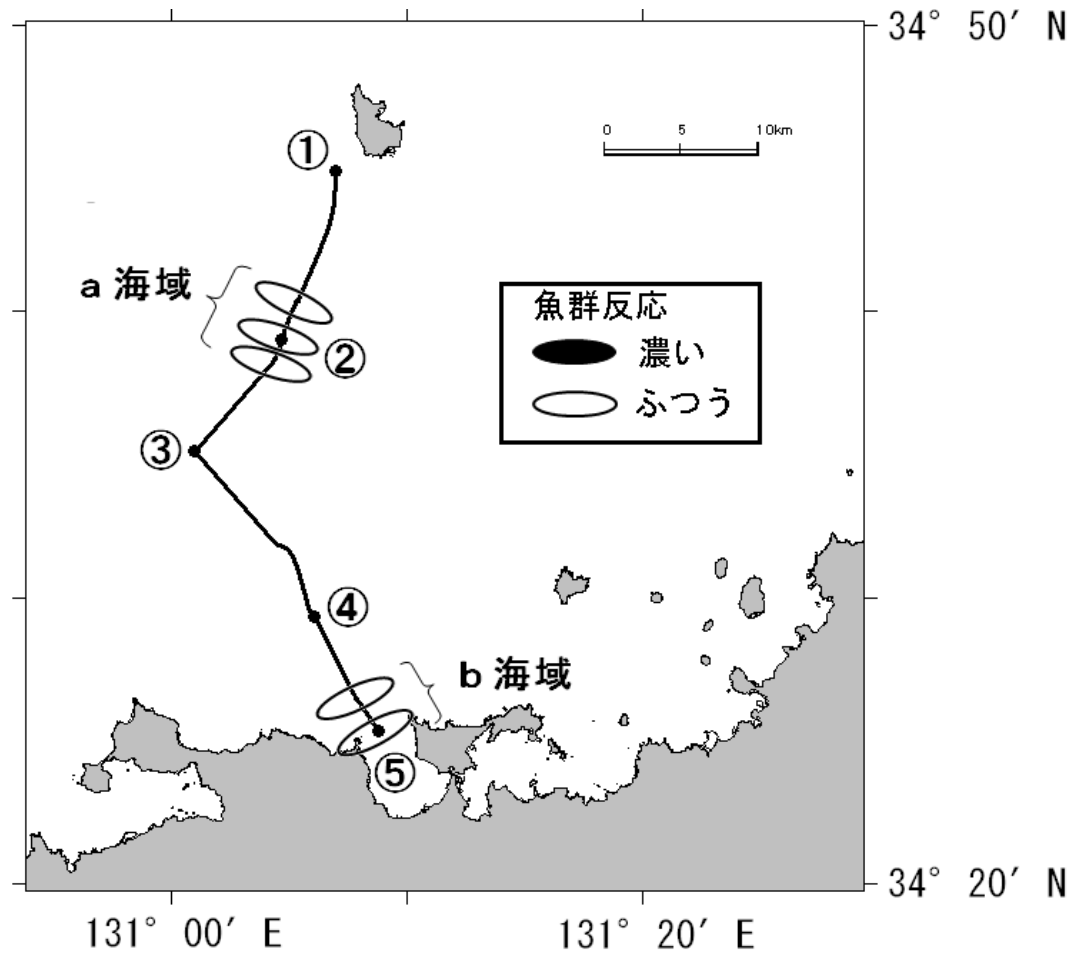


図3 調査海域図

表1 各観測点の水深別水温(°C)

測点番号	時刻	11:21	14:54	15:29	16:37	18:03
時刻		11:21	14:54	15:29	16:37	18:03
水深		89m	57m	94m	82m	40m
0m		24.4	24.9	25.0	24.8	24.8
20m		23.4	23.5	23.8	23.7	23.3
40m		22.6	22.5	22.1	22.8	22.2
60m		20.9	-	21.1	21.2	-
80m		20.7	-	20.4	20.5	-
海底		20.5	20.5	20.0	20.5	22.2

魚群反応があった海域(図3に対応)

いずれも位置は世界測地系です。

a 海域(カキノ瀬) 反応: ふつう

日時 7月14日 14時50分

緯度 34°40.42'N 経度 131°05.32'E から

緯度 34°38.44'N 経度 131°04.41'E にかけて

水深: 58~84m 反応水深: 40m~海底付近

b 海域(深川湾口 No.8) 反応: ふつう

日時 7月14日 18時02分

緯度 34°26.52'N 経度 131°07.84'E から

緯度 34°25.40'N 経度 131°08.78'E にかけて

水深: 43~52m 反応水深: 10m~40m